

看護師20年・3人の子育てお母さん

藤田りょうこ

日本共産党都議予定候補 事務所ニュース

No.16 2016年12月13日



国交省担当者(右手前)と交渉する左から藤田りょうこ候補、一人おいて山添拓参議院議員

駅ホーム転落防止・緊急の対策を 山添参院議員、藤田候補ら 国交省に説明を求める

12月8日、藤田りょうこ都議予定候補は、視覚障害者のホーム転落事故防止について、山添拓参院議員に同行し、視覚障害者らとともに国土交通省と交渉しました。

「国交省は全国の鉄道会社に対し、原則視覚障害者の乗車を駅員が介助するように求める方針を固めた」との報道(毎日新聞)を受けて、視覚

障害者とともに「対策会議」についての説明を求めたものです。「毎日」報道に関しては国交省は検討中としました。視覚障害者は駅の人員削減が進む中「駅員あつての安全対策だ、無人化は逆行」などと主張しました。

藤田候補コメント

国民の命最優先で

人の命を預かる鉄道会社が安全を守るのは当然のことです。利益追求を野放しにしている、ホームドアの設置も進みません。

国土交通省には、鉄道の営業とともに国民の命最優先の立場で、転落事故防止のガイドライン作成に取り組むことを求めます。

大田区から共産党 都議2名を必ず

記念撮影。中央に田村智子さん、その右、藤田候補、佐藤候補



青年企画 共産党副委員長・参議院議員 田村智子さんに聞いてみよう!

11日のイベントで藤田候補は、自身の医療現場での経験から都政を目指す決意を語りました。

藤田りょうこ候補は、これまで、京急本社への申し入れを通じ、利用者の立場にたった安全対策が早急に必要との思いで交渉に臨みました。



2016年12月号外
大田民報社 北馬込1-4-12 佐藤方

日本共産党大田地区委員会の見解を紹介します。

連絡先

〒144-0051 東京都大田区西蒲田6-34-7
Tel 03-3736-1494 Fax 03-3735-4522
URL <http://r-fujita.jcp-ota.jp/>
Mail r-fujita@jcp-ota.jp

藤田りょうこさんを何としても都政へ

わたしも
応援します！

藤田りょうこさんは、同じ保育園に子どもを預ける「ママ友」です。元気いっ

ばいな3人の男の子のお母さんであり、園の父母会では副会長という中心的な役割も担っていて、育児や活動に奮闘する姿をよく目にします。忙しいはずなのにいつも朗らかにお子さんと接していて、同じ母親として尊敬しています。大田区では今、保育料が値上げされようとしています。私たち親には深刻な問題ですが、当事者を置き去りにして大事なことが決められているように感じます。そうした中で、りょうこさんは、園の先



新婦人まつり会場にて。右が佐藤美香さん

同じ母親として尊敬します ママ友 佐藤美香

生方や父母会の会長さんとも大田区主催の説明会に参加し、内容をいち早く私たち保護者に知らせてくれました。そして、大田区が区民の意見を募集している情報もつかみ、「みんなで見聞を寄せましよう！」と広く呼びかけていました。

大事なことが国民に知らされずに決められてしまうのは、都政も同じ。黙っていると、社会保障は削られる一方です。りょうこさんは、おかしいと思ったことをそのままにせず、自分の言葉で伝えてくれます。その熱意に背中を押され、「私も何かしたい」という気持ちになります。

そんなりょうこさんなら、都民と手をつなぎ、閉鎖的な都議会に風穴を開けてくれるはず。私は、子どもからお年寄りまで安心して暮らせるよう、保育園や特養ホームの増設など、暮らしや福祉を大切にする都政を実現してほしいと願っています。藤田りょうこさんを都政に送るため、私も一緒に頑張ります。

《主な駅頭宣伝》

※雨天中止または変更の場合あり

- 朝の駅頭 7時15分～8時**
- 14日 (水) 御嶽山駅
 - 15日 (木) 久が原駅
 - 16日 (金) 鶉の木駅
 - 19日 (月) 洗足池駅
 - 20日 (火) 雑色駅
 - 21日 (水) 六郷土手駅
- 夕方の駅頭 17時～18時**
- 16日 (金) JR蒲田西口

藤田りょうこ成長記 ①6

母 沢井正代



高1の体育祭で(バレーボール部の友達と)。右がりょうこ

高校1年、バブル下で、高校生の生活にも影響が出ていました。当時、女子高生がコンビニなどのバイトでたくさん収入を得ていました。主婦のパートよりも多い高校生のバイト代、どこかが狂っています。

そんなことでは、金銭感覚が狂うのではと、我が家は当面はバイトを禁止しま

した。娘も理解し特に反発はありませんでした。

小遣いも沢山はあげていないので、友人とお金の使い方と出づれがでてきます。部活の帰りに飲食を誘われても、お金を出すのはもったいないと何度か断ると、とうとう誘ってくれなくなりました。

ある時、渋谷からの帰りが遅くなり、「今から帰る」と電話のあとなかなか帰ってきません。やっと帰ってきたので訳を聞くと、お金もったいたないのでJRは使わず、東横線で渋谷・自由が丘・旗の台・雪が谷で帰ってきたそうです。そんなことがあったか、お金も物も時間も無駄にしないしっかり者になりました。



東六郷の集いで挨拶(10日)